

【表紙】	
【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月17日
【計算期間】	第10期中（自 平成23年5月21日 至 平成23年11月20日）
【ファンド名】	三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）
【発行者名】	三菱UFJ投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 後藤 俊夫
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
【事務連絡者氏名】	井上 靖
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当ありません

1 【ファンドの運用状況】

(1) 【投資状況】

平成23年11月30日現在

(単位：円)

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	22,052,916,954	96.95
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)	—	692,860,354	3.05
純資産総額		22,745,777,308	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【運用実績】

① 【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成23年11月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額	基準価額 (1万口当たりの純資産価額)
第1計算期間末日 (平成15年 5月20日)	647,339,588 (分配付) 647,339,588 (分配落)	10,070 (分配付) 10,070 (分配落)
第2計算期間末日 (平成16年 5月20日)	2,137,461,331 (分配付) 2,117,285,632 (分配落)	10,585 (分配付) 10,485 (分配落)
第3計算期間末日 (平成17年 5月20日)	4,072,362,353 (分配付) 4,072,362,353 (分配落)	10,810 (分配付) 10,810 (分配落)
第4計算期間末日 (平成18年 5月22日)	7,696,952,171 (分配付) 7,696,952,171 (分配落)	11,552 (分配付) 11,552 (分配落)
第5計算期間末日 (平成19年 5月21日)	12,029,176,379 (分配付) 12,029,176,379 (分配落)	12,265 (分配付) 12,265 (分配落)
第6計算期間末日 (平成20年 5月20日)	14,855,391,151 (分配付) 14,855,391,151 (分配落)	11,892 (分配付) 11,892 (分配落)
第7計算期間末日 (平成21年 5月20日)	15,695,193,452 (分配付) 15,695,193,452 (分配落)	10,823 (分配付) 10,823 (分配落)
第8計算期間末日 (平成22年 5月20日)	18,782,393,531 (分配付) 18,782,393,531 (分配落)	11,223 (分配付) 11,223 (分配落)
第9計算期間末日 (平成23年 5月20日)	21,799,094,893 (分配付) 21,799,094,893 (分配落)	11,350 (分配付) 11,350 (分配落)
平成22年11月末日	20,515,921,501	11,232
12月末日	21,244,647,851	11,370
平成23年 1月末日	21,370,260,126	11,385
2月末日	21,560,331,315	11,485
3月末日	21,762,339,514	11,377
4月末日	21,892,025,048	11,398
5月末日	22,034,098,204	11,353
6月末日	22,575,846,908	11,378
7月末日	22,660,724,727	11,332
8月末日	22,390,301,594	11,113
9月末日	22,570,985,594	11,063
10月末日	22,921,885,221	11,187
11月末日	22,745,777,308	11,006

② 【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	100円
第3計算期間	0円
第4計算期間	0円
第5計算期間	0円
第6計算期間	0円

第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円

③【収益率の推移】

	収益率 (%)
第1計算期間	0.70
第2計算期間	5.11
第3計算期間	3.09
第4計算期間	6.86
第5計算期間	6.17
第6計算期間	△3.04
第7計算期間	△8.98
第8計算期間	3.69
第9計算期間	1.13
第9計算期間末日から 平成23年11月末日までの期間	△3.03

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ちの額、以下「前期末基準価額」）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数。ただし、第9計算期間末日から平成23年11月末日までの期間については平成23年11月末日の基準価額から前期末基準価額を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数。

<参考>

「三菱UFJ 国内債券マザーファンド」

(1) 投資状況

平成23年11月30日現在
(単位：円)

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
国債証券	日本	200,841,023,990	75.20
地方債証券	日本	17,160,107,705	6.43
特殊債券	日本	27,163,139,523	10.17
社債券	日本	19,123,704,630	7.16
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)	—	2,789,036,235	1.04
純資産総額		267,077,012,083	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

<参考>

「三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド」

(1) 投資状況

平成23年11月30日現在
(単位：円)

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
株式	日本	248,541,772,510	96.99
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)	—	7,704,450,954	3.01
純資産総額		256,246,223,464	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

平成23年11月30日現在
(単位：円)

資産の種類	時価合計	投資比率(%)
株価指数先物取引（買建）	8,940,975,000	3.49

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

＜参考＞

「三菱UFJ 外国債券マザーファンド」

(1) 投資状況

平成23年11月30日現在

(単位：円)

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
国債証券	アメリカ	83,227,815,936	41.15
	フランス	18,975,829,740	9.38
	ドイツ	18,888,953,529	9.34
	イギリス	18,060,277,824	8.93
	イタリア	16,572,297,117	8.19
	スペイン	8,206,450,795	4.06
	カナダ	5,893,935,925	2.91
	オランダ	5,224,062,513	2.58
	ベルギー	4,852,177,982	2.40
	オーストリア	3,365,696,040	1.66
	オーストラリア	2,931,624,968	1.45
	デンマーク	1,942,022,138	0.96
	メキシコ	1,735,051,180	0.86
	ポーランド	1,392,765,865	0.69
	アイルランド	1,316,983,936	0.65
	スウェーデン	1,226,307,787	0.61
	フィンランド	1,224,624,744	0.61
	ポルトガル	1,166,395,658	0.58
	マレーシア	1,057,310,613	0.52
	スイス	920,886,952	0.46
	シンガポール	784,164,256	0.39
	ノルウェー	612,820,367	0.30
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)	—	2,665,881,328	1.32
純資産総額		202,244,337,193	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

<参考>

「三菱UFJ 外国株式マザーファンド」

(1) 投資状況

平成23年11月30日現在

(単位：円)

資産の種類	国／地域名	時価合計	投資比率(%)
株式	アメリカ	94,319,524,527	54.69
	イギリス	17,848,554,873	10.35
	カナダ	9,524,785,418	5.52
	フランス	6,670,550,564	3.87
	スイス	6,663,771,163	3.86
	オーストラリア	6,494,656,521	3.77
	ドイツ	6,349,842,717	3.68
	スペイン	2,566,084,673	1.49
	スウェーデン	2,304,141,241	1.34
	香港	2,159,971,834	1.25
	オランダ	2,068,432,361	1.20
	イタリア	1,765,480,830	1.02
	シンガポール	1,306,776,534	0.76
	デンマーク	845,859,259	0.49
	ベルギー	758,102,020	0.44
	ノルウェー	736,315,074	0.43
	フィンランド	718,929,483	0.42
	イスラエル	495,218,899	0.29
	ルクセンブルグ	259,568,552	0.15
	アイルランド	200,863,200	0.12
	オーストリア	198,256,499	0.11
	ポルトガル	174,422,251	0.10
	ニュージーランド	84,234,311	0.05
	ギリシャ	78,191,647	0.05
投資証券	アメリカ	1,959,506,572	1.14
	オーストラリア	506,662,420	0.29
	イギリス	208,735,654	0.12
	フランス	206,098,539	0.12
	香港	70,186,931	0.04
	シンガポール	56,306,952	0.03
	オランダ	19,644,857	0.01
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)	—	4,846,666,513	2.80
純資産総額		172,466,342,889	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

平成23年11月30日現在

(単位：円)

資産の種類	時価合計	投資比率(%)
株価指数先物取引（買建）	5,963,267,134	3.46

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

2【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	644,227,919	1,386,095	642,841,824
第2計算期間	1,536,842,818	160,381,864	2,019,302,778
第3計算期間	2,122,535,594	374,726,457	3,767,111,915
第4計算期間	3,975,405,298	1,079,412,343	6,663,104,870
第5計算期間	4,495,307,748	1,350,905,222	9,807,507,396
第6計算期間	4,723,526,104	2,039,364,637	12,491,668,863
第7計算期間	3,759,857,633	1,749,221,009	14,502,305,487
第8計算期間	3,682,294,098	1,448,493,748	16,736,105,837
第9計算期間	3,849,242,888	1,378,486,670	19,206,862,055
第10計算期期首から 平成23年11月30日までの期間	2,291,366,501	831,684,076	20,666,544,480

（注）第1計算期間の設定口数は、当初募集期間の当初設定口数を含みます。

3【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第10期中間計算期間（平成23年5月21日から平成23年11月20日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人により中間監査を受けております。

三菱UFJプライムバランス（安定型）（確定拠出年金）
（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第 9 期 [平成23年5月20日現在]	第 10 期中間計算期間末 [平成23年11月20日現在]
資産の部		
流動資産		
金銭信託	—	2,271,384
コール・ローン	682,979,699	714,482,085
親投資信託受益証券	21,142,578,755	21,880,705,192
未収入金	14,858,850	2,754,129
未収利息	1,529	4,764
流動資産合計	21,840,418,833	22,600,217,554
資産合計	21,840,418,833	22,600,217,554
負債の部		
流動負債		
未払解約金	16,863,211	8,184,830
未払受託者報酬	4,447,413	4,718,760
未払委託者報酬	20,013,316	21,234,344
流動負債合計	41,323,940	34,137,934
負債合計	41,323,940	34,137,934
純資産の部		
元本等		
元本	※1 19,206,862,055	※1 20,457,585,335
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	2,592,232,838	2,108,494,285
（分配準備積立金）	1,522,400,899	1,464,702,222
元本等合計	21,799,094,893	22,566,079,620
純資産合計	21,799,094,893	22,566,079,620
負債純資産合計	21,840,418,833	22,600,217,554

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 9 期中間計算期間 自 平成22年 5月21日 至 平成22年11月20日	第 10 期中間計算期間 自 平成23年 5月21日 至 平成23年11月20日
営業収益		
受取利息	297,670	274,563
有価証券売買等損益	204,450,059	△612,717,135
営業収益合計	204,747,729	△612,442,572
営業費用		
受託者報酬	4,178,520	4,718,760
委託者報酬	18,803,251	21,234,344
営業費用合計	22,981,771	25,953,104
営業利益	181,765,958	△638,395,676
経常利益	181,765,958	△638,395,676
中間純利益	181,765,958	△638,395,676
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	△1,000,347	△12,534,390
期首剰余金又は期首欠損金（△）	2,046,287,694	2,592,232,838
剰余金増加額又は欠損金減少額	236,784,713	246,076,484
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	236,784,713	246,076,484
剰余金減少額又は欠損金増加額	73,424,358	103,953,751
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	73,424,358	103,953,751
分配金	—	—
中間剰余金又は中間欠損金（△）	2,392,414,354	2,108,494,285

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 (2) 親投資信託受益証券以外の有価証券 個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 ①金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場で評価しております。 ②金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、および金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）または価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 ③時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第 9 期 [平成23年5月20日現在]	第 10 期中間計算期間末 [平成23年11月20日現在]
※ 1 期首元本額	16,736,105,837円	19,206,862,055円
期中追加設定元本額	3,849,242,888円	2,023,491,089円
期中一部解約元本額	1,378,486,670円	772,767,809円
2 受益権の総数	19,206,862,055口	20,457,585,335口
3 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1350円 (11,350円)	1.1031円 (11,031円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第 9 期 [平成23年5月20日現在]	第 10 期中間計算期間末 [平成23年11月20日現在]
1 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

(有価証券関係に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

[次へ](#)

<参考>

当ファンドは「三菱ＵＦＪ 国内債券マザーファンド」、「三菱ＵＦＪ トピックスインデックスマザーファンド」、「三菱ＵＦＪ 外国債券マザーファンド」および「三菱ＵＦＪ 外国株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、これら親投資信託の受益証券です。

なお、これら親投資信託の状況は次の通りです。

「三菱ＵＦＪ 国内債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	〔平成23年5月20日現在〕	〔平成23年11月18日現在〕
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	455,489,343	229,544,748
国債証券	214,573,318,320	206,435,301,450
地方債証券	18,391,629,724	17,591,004,920
特殊債券	29,283,471,043	27,721,209,625
社債券	22,918,764,370	19,511,419,490
未収入金	353,225,200	2,802,977,524
未収利息	1,080,848,530	995,738,561
前払費用	53,910,125	35,770,600
流動資産合計	287,110,656,655	275,322,966,918
資産合計	287,110,656,655	275,322,966,918
負債の部		
流動負債		
未払金	313,953,000	1,291,282,464
未払解約金	73,970,095	202,359,411
流動負債合計	387,923,095	1,493,641,875
負債合計	387,923,095	1,493,641,875
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	238,008,087,412	223,559,541,326
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	48,714,646,148	50,269,783,717
元本等合計	286,722,733,560	273,829,325,043
純資産合計	286,722,733,560	273,829,325,043
負債純資産合計	287,110,656,655	275,322,966,918

（注1）親投資信託の計算期間は、原則として、毎年5月21日から翌年5月20日までであります。

（注2）平成23年11月20日が休業日のため、前営業日の平成23年11月18日現在における親投資信託の状況です。

(2) 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 有価証券の評価基準及び評価方法	有価証券は個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、および金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）または価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-------------------	---

	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
※ 1 期首	平成22年5月21日	平成23年5月21日
期首元本額	249,837,003,765円	238,008,087,412円
期首からの追加設定元本額	24,855,732,767円	7,781,010,920円
期首からの一部解約元本額	36,684,649,120円	22,229,557,006円
元本の内訳※		
三菱UFJ ライフセレクトファンド (安定型)	2,554,142,938円	2,621,854,175円
三菱UFJ ライフセレクトファンド (安定成長型)	2,443,580,617円	2,441,631,093円
三菱UFJ ライフセレクトファンド (成長型)	595,515,041円	575,764,381円
三菱UFJ プライムバランス (安定型) (確定拠出年金)	12,231,402,237円	12,590,392,430円
三菱UFJ プライムバランス (安定成長型) (確定拠出年金)	20,453,124,386円	20,180,479,313円
三菱UFJ プライムバランス (成長型) (確定拠出年金)	4,914,583,953円	4,700,466,492円
三菱UFJ 6資産バランスファンド (2ヵ月分配型)	524,059,953円	434,464,667円
三菱UFJ 6資産バランスファンド (成長型)	328,165,403円	273,022,436円
三菱UFJ 国内債券インデックスファンド	258,723,982円	319,976,036円
FPバランスファンド (安定型)	76,612,734円	70,605,638円
FPバランスファンド (安定成長型)	115,137,821円	107,987,467円
三菱UFJ 日本債券ファンドVA (適格機関投資家限定)	192,588,420,642円	178,402,426,600円
三菱UFJ ライフセレクトファンド (安定型) VA (適格機関投資家限定)	77,662,376円	74,096,514円
三菱UFJ ライフセレクトファンド (安定成長型) VA (適格機関投資家限定)	181,126,659円	159,638,040円
ワールドバランス2006	665,828,670円	606,736,044円
(合 計)	238,008,087,412円	223,559,541,326円
2 受益権の総数	238,008,087,412口	223,559,541,326口
3 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.2047円 (12,047円)	1.2249円 (12,249円)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	〔平成23年5月20日現在〕	〔平成23年11月18日現在〕
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表（金融商品に関する注記）に記載しております。	同 左

該当事項はありません。

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

「三菱UFJ トピックスインデックスマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	〔平成23年5月20日現在〕	〔平成23年11月18日現在〕
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,717,770,936	2,409,625,773
株式	274,912,302,565	245,607,802,120
派生商品評価勘定	730,440	—
未収入金	161,742	—
未収配当金	3,038,319,275	2,405,737,354
未収利息	3,847	5,355
前払金	87,215,000	137,412,000
差入委託証拠金	425,730,000	141,960,000
流動資産合計	280,182,233,805	250,702,542,602
資産合計	280,182,233,805	250,702,542,602
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	106,536,200	177,728,480
未払金	320,040	914,720
未払解約金	77,108,511	69,272,702
流動負債合計	183,964,751	247,915,902
負債合計	183,964,751	247,915,902
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	476,134,315,153	484,347,830,250
剰余金		
剰余金又は欠損金（△） ※2	△196,136,046,099	△233,893,203,550
元本等合計	279,998,269,054	250,454,626,700
純資産合計	279,998,269,054	250,454,626,700
負債純資産合計	280,182,233,805	250,702,542,602

(注1) 親投資信託の計算期間は、原則として、毎年2月21日から翌年2月20日までであります。

(注2) 平成23年11月20日が休業日のため、前営業日の平成23年11月18日現在における親投資信託の状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法、株式以外の有価証券は個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、および金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）または価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。

	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
※ 1 期首	平成22年5月21日	平成23年5月21日
期首元本額	469,334,739,873円	476,134,315,153円
期首からの追加設定元本額	71,684,393,055円	28,597,914,004円
期首からの一部解約元本額	64,884,817,775円	20,384,398,907円
元本の内訳※		
三菱UFJ トビックスインデックスオープン	26,286,474,469円	27,004,464,477円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定型）	1,284,742,877円	1,476,285,757円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）	3,806,152,172円	4,257,273,566円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（成長型）	3,472,260,816円	3,757,967,300円
三菱UFJ トビックスオープン（確定拠出年金）	3,175,045,162円	3,412,077,949円
三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	6,152,455,699円	7,089,236,838円
三菱UFJ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	31,858,284,185円	35,187,059,017円
三菱UFJ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	28,655,447,620円	30,679,485,213円
三菱UFJ 財産分散ファンド（毎月決算型）	4,382,158,442円	3,771,907,443円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	1,056,279,225円	992,614,133円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（成長型）	1,980,199,411円	1,869,070,993円
FPバランスファンド（安定型）	54,599,521円	56,771,926円
FPバランスファンド（安定成長型）	128,286,834円	136,957,301円
三菱UFJ トビックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）	362,970,750,963円	363,775,574,602円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定型）VA（適格機関投資家限定）	39,064,677円	41,721,309円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）VA（適格機関投資家限定）	282,128,212円	278,347,233円
ワールドバランス2006	549,984,868円	561,015,193円
（合 計）	476,134,315,153円	484,347,830,250円
※ 2 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	196,136,046,099円	233,893,203,550円
3 受益権の総数	476,134,315,153口	484,347,830,250口
4 1口当たり純資産額	0.5881円	0.5171円
（1万口当たり純資産額）	（5,881円）	（5,171円）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	〔平成23年5月20日現在〕	〔平成23年11月18日現在〕
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 (デリバティブ取引等関係に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表(金融商品に関する注記)に記載しております。	同 左

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

区 分	種 類	〔平成23年5月20日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	5,192,280,000	—	5,086,990,000	△105,290,000
	合 計	5,192,280,000	—	5,086,990,000	△105,290,000

区 分	種 類	〔平成23年11月18日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	5,025,644,000	—	4,848,480,000	△177,164,000
	合 計	5,025,644,000	—	4,848,480,000	△177,164,000

(注) 時価の算定方法

1 株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い最終相場値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

「三菱UFJ 外国債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	〔平成23年5月20日現在〕		〔平成23年11月18日現在〕	
	金 額 (円)		金 額 (円)	
資産の部				
流動資産				
預金	140,391,564		372,505,357	
コール・ローン	124,958,909		228,337,019	
国債証券	214,920,128,067		199,452,382,157	
派生商品評価勘定	—		5,850	
未収入金	125,639,946		239,020,034	
未収利息	2,491,870,907		2,062,461,068	
前払費用	108,512,805		75,288,804	
流動資産合計	217,911,502,198		202,430,000,289	
資産合計	217,911,502,198		202,430,000,289	
負債の部				
流動負債				
派生商品評価勘定	157,536		23,890	
未払金	—		363,047,362	
未払解約金	154,977,270		215,014,281	
流動負債合計	155,134,806		578,085,533	
負債合計	155,134,806		578,085,533	
純資産の部				
元本等				
元本 ※1	126,414,713,254		123,501,360,158	
剰余金				
剰余金又は欠損金 (△)	91,341,654,138		78,350,554,598	
元本等合計	217,756,367,392		201,851,914,756	
純資産合計	217,756,367,392		201,851,914,756	
負債純資産合計	217,911,502,198		202,430,000,289	

(注1) 親投資信託の計算期間は、原則として、毎年5月21日から翌年5月20日までであります。

(注2) 平成23年11月20日が休業日のため、前営業日の平成23年11月18日現在における親投資信託の状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	有価証券は個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場（外貨建証券の場合は知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、および金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）または価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-------------------	---

2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
※ 1 期首		
期首元本額	平成22年5月21日 127,012,311,663円	平成23年5月21日 126,414,713,254円
期首からの追加設定元本額	12,536,886,560円	5,587,415,499円
期首からの一部解約元本額	13,134,484,969円	8,500,768,595円
元本の内訳*		
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定型）	130,947,459円	141,199,181円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）	199,850,190円	209,763,401円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（成長型）	120,328,943円	122,206,608円
三菱UFJ 外国債券オープン	3,946,506,164円	3,661,405,056円
三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	627,087,051円	678,053,324円
三菱UFJ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	1,672,772,072円	1,733,728,781円
三菱UFJ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	993,033,563円	997,680,463円
三菱UFJ 財産分散ファンド（毎月決算型）	2,536,050,714円	1,988,397,006円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	1,865,332,233円	1,592,178,495円
三菱UFJ 6資産バランスファンド（成長型）	230,441,337円	200,095,444円
FPバランスファンド（安定型）	67,898,399円	64,405,541円
FPバランスファンド（安定成長型）	135,310,789円	131,462,690円
三菱UFJ 外国債券オープン（確定拠出年金）	1,743,034,082円	1,802,546,854円
三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（毎月分配型）	924,647,770円	903,501,784円
三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（年1回決算型）	1,497,087,805円	1,551,391,091円
三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	104,525,197,075円	100,632,119,920円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定型）VA（適格機関投資家限定）	3,981,640円	3,990,454円
三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）VA（適格機関投資家限定）	14,813,551円	13,714,710円
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2（適格機関投資家限定）	404,392,743円	387,865,149円
MUAM 世界債券オープン（適格機関投資家限定）	4,590,389,238円	6,506,914,566円
ワールドバランス2006	142,944,868円	136,829,333円
MUAM 世界国債インデックスファンド2007-12（適格機関投資家限定）	42,665,568円	41,910,307円
（合 計）	126,414,713,254円	123,501,360,158円
2 受益権の総数	126,414,713,254口	123,501,360,158口
3 1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	1.7226円 (17,226円)	1.6344円 (16,344円)

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 （デリバティブ取引等関係に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表（金融商品に関する注記）に記載しております。	同 左

（有価証券関係に関する注記）
該当事項はありません。

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

区 分	種 類	〔平成23年5月20日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	アメリカドル	27,768,360	—	27,798,400	△30,040
	カナダドル	6,319,650	—	6,339,000	△19,350
	イギリスポンド	6,628,250	—	6,629,500	△1,250
	デンマーククローネ	2,813,994	—	2,820,600	△6,606
	メキシコペソ	3,141,000	—	3,154,500	△13,500
	ユーロ	36,155,310	—	36,242,100	△86,790
	合 計	82,826,564	—	82,984,100	△157,536

区 分	種 類	〔平成23年11月18日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価 (円)	評 価 損 益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	アメリカドル	39,283,725	—	39,280,200	3,525
	イギリスポンド	7,882,355	—	7,883,850	△1,495
	マレーシアリングgit	1,461,600	—	1,461,600	—
	ノルウェークローネ	1,456,180	—	1,455,300	880
	メキシコペソ	2,632,470	—	2,632,000	470
	ユーロ	39,355,180	—	39,376,600	△21,420
	合 計	92,071,510	—	92,089,550	△18,040

(注) 時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

② 当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

「三菱UFJ 外国株式マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
	金 額 (円)	金 額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	2,773,050,788	2,532,131,659
コール・ローン	161,777,505	149,166,192
株式	185,136,000,726	162,769,727,330
投資証券	3,202,067,193	2,974,198,613
派生商品評価勘定	55,383,246	85,299,885
未収入金	4,680,442	7,003,086
未収配当金	440,331,784	368,451,631
未収利息	362	331
差入委託証拠金	1,406,506,536	1,485,289,887
流動資産合計	193,179,798,582	170,371,268,614
資産合計	193,179,798,582	170,371,268,614
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	10,998,795	59,889,863
未払解約金	48,278,389	28,574,290
流動負債合計	59,277,184	88,464,153
負債合計	59,277,184	88,464,153
純資産の部		
元本等		
元本 ※1	207,532,877,945	224,189,281,737
剰余金		
剰余金又は欠損金 (△) ※2	△14,412,356,547	△53,906,477,276
元本等合計	193,120,521,398	170,282,804,461
純資産合計	193,120,521,398	170,282,804,461
負債純資産合計	193,179,798,582	170,371,268,614

(注1) 親投資信託の計算期間は、原則として、毎年5月21日から翌年5月20日までであります。

(注2) 平成23年11月20日が休業日のため、前営業日の平成23年11月18日現在における親投資信託の状況です。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	株式および投資証券は移動平均法、株式および投資証券以外の有価証券は個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における最終相場（外貨建証券の場合は知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、および金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）または価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法	(1) 先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 (2) 為替予約取引 個別法に基づき、原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
※ 1 期首		
期首元本額	平成22年5月21日 229,769,163,895円	平成23年5月21日 207,532,877,945円
期首からの追加設定元本額	23,804,272,314円	31,099,605,883円
期首からの一部解約元本額	46,040,558,264円	14,443,202,091円
元本の内訳*		
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）	383,470,412円	461,907,003円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）	1,243,657,986円	1,458,185,457円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（成長型）	1,101,166,006円	1,249,304,596円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）	1,836,373,449円	2,218,141,917円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（安定成長型）（確定拠出年金）	10,409,477,419円	12,052,140,374円
三菱ＵＦＪ プライムバランス（成長型）（確定拠出年金）	9,087,522,777円	10,199,223,532円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（2ヵ月分配型）	682,357,113円	672,057,701円
三菱ＵＦＪ 6資産バランスファンド（成長型）	1,285,305,815円	1,273,449,090円
F Pバランスファンド（安定型）	17,822,809円	19,710,687円
F Pバランスファンド（安定成長型）	83,344,196円	92,408,339円
三菱ＵＦＪ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）	181,036,911,942円	194,104,600,269円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定型）VA（適格機関投資家限定）	11,659,860円	13,054,131円
三菱ＵＦＪ ライフセレクトファンド（安定成長型）VA（適格機関投資家限定）	92,182,711円	95,339,187円
ワールドバランス2006	261,625,450円	279,759,454円
（合 計）	207,532,877,945円	224,189,281,737円
※ 2 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	14,412,356,547円	53,906,477,276円
3 受益権の総数	207,532,877,945口	224,189,281,737口
4 1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	0.9306円 (9,306円)	0.7595円 (7,595円)

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	[平成23年5月20日現在]	[平成23年11月18日現在]
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 （デリバティブ取引等関係に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	当ファンドに投資する証券投資信託の注記表（金融商品に関する注記）に記載しております。	同 左

（有価証券関係に関する注記）

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等関係に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

区 分	種 類	〔平成23年5月20日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価	評 価 損 益
			うち1年超	(円)	(円)
市場取引	株価指数先物取引 買建	4,509,282,411	—	4,553,727,762	44,445,351
	合 計	4,509,282,411	—	4,553,727,762	44,445,351

区 分	種 類	〔平成23年11月18日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価	評 価 損 益
			うち1年超	(円)	(円)
市場取引	株価指数先物取引 買建	4,263,337,266	—	4,288,754,188	25,416,922
	合 計	4,263,337,266	—	4,288,754,188	25,416,922

(注) 時価の算定方法

1 株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い最終相場値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

通貨関連

区 分	種 類	〔平成23年5月20日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価	評 価 損 益
			うち1年超	(円)	(円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 オーストラリアドル	30,462,600	—	30,523,500	△60,900
	合 計	30,462,600	—	30,523,500	△60,900

区 分	種 類	〔平成23年11月18日現在〕			
		契 約 額 等 (円)		時 価	評 価 損 益
			うち1年超	(円)	(円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 イギリスポンド	36,380,100	—	36,387,000	△6,900
	合 計	36,380,100	—	36,387,000	△6,900

(注) 時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

② 当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

(イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

4【委託会社等の概況】

（１）【資本金の額】

平成23年11月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、124,098株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

平成23年11月30日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	366	5,434,878
追加型公社債投資信託	18	436,000
単位型株式投資信託	10	40,406
単位型公社債投資信託	8	129,715
合 計	402	6,040,999

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

（３）【その他】

該当事項はありません。

5【委託会社等の経理状況】

（１）財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

第25期事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）は、改正前の財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき、第26期事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）は、改正後の財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

（２）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第25期事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）及び第26期事業年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第27期事業年度に係る中間会計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）の中間財務諸表については、有限責任監査法人トーマツによる中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)			
		第25期	第26期
		(平成22年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	※2	8,675,536	※2 17,056,128
有価証券	※2	14,000,000	※2 10,000,000
前払費用		136,193	156,230
未収入金	※2	45,397	※2 19,641
未収委託者報酬		4,345,110	4,517,987
未収収益	※2	43,835	※2 63,656
繰延税金資産		407,456	429,080
金銭の信託	※2	500,000	※2 30,000
その他		8,190	28,070
流動資産合計		28,161,721	32,300,796
固定資産			
有形固定資産			
建物	※1	333,687	※1 306,543
器具備品	※1	158,971	※1 184,985
土地		1,205,031	1,205,031
有形固定資産合計		1,697,691	1,696,560
無形固定資産			
電話加入権		15,822	15,822
ソフトウェア		787,767	909,905
ソフトウェア仮勘定		72,475	146,761
その他		112	68
無形固定資産合計		876,178	1,072,557
投資その他の資産			
投資有価証券		11,797,311	9,405,012
関係会社株式		431,812	431,812
長期性預金	※2	5,000,000	※2 7,000,000
長期差入保証金	※2	1,030,783	※2 797,041
長期前払費用		142	52
繰延税金資産		474,632	442,254
その他		16,075	15,035
投資その他の資産合計		18,750,756	18,091,208
固定資産合計		21,324,626	20,860,326
資産合計		49,486,347	53,161,123

(単位：千円)

	第25期 (平成22年3月31日現在)	第26期 (平成23年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	51,838	47,528
未払金		
未払収益分配金	274,776	245,085
未払償還金	1,607,485	1,328,820
未払手数料	※2 1,748,905	※2 1,768,519
その他未払金	52,889	104,042
未払費用	※2 1,034,566	※2 1,240,586
未払消費税等	104,853	184,873
未払法人税等	1,727,215	2,228,870
賞与引当金	580,826	550,000
デリバティブ債務	7,536	—
その他	—	227,518
流動負債合計	7,190,892	7,925,844
固定負債		
退職給付引当金	68,206	105,461
役員退職慰労引当金	66,197	76,024
時効後支払損引当金	—	196,123
固定負債合計	134,404	377,609
負債合計	7,325,296	8,303,454
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	222,096	222,096
資本剰余金合計	222,096	222,096
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	31,383,254	34,903,313
利益剰余金合計	38,723,843	42,243,903
株主資本合計	40,946,071	44,466,131
評価・換算差額等		
その他有価証券		
評価差額金	1,277,237	391,537
繰延ヘッジ損益	△62,258	—
評価・換算差額等合計	1,214,979	391,537
純資産合計	42,161,050	44,857,668
負債純資産合計	49,486,347	53,161,123

(2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	40,630,847	48,411,622
その他営業収益		
投資顧問料	7,619	16,400
その他	85,040	236,596
営業収益合計	40,723,506	48,664,618
営業費用		
支払手数料	※2 17,208,659	※2 19,778,797
広告宣伝費	579,833	696,640
公告費	7,195	7,795
調査費		
調査費	799,697	895,558
委託調査費	5,231,920	8,991,373
事務委託費	183,931	243,109
営業雑経費		
通信費	98,055	98,144
印刷費	607,867	569,763
協会費	35,983	37,616
諸会費	5,761	6,248
事務機器関連費	841,349	880,509
営業費用合計	25,600,255	32,205,558
一般管理費		
給料		
役員報酬	194,520	199,168
給料・手当	3,445,656	3,576,037
賞与引当金繰入	580,826	550,000
福利厚生費	458,092	492,032
交際費	21,080	23,412
旅費交通費	108,299	156,920
租税公課	102,967	108,850
不動産賃借料	654,768	655,939
退職給付費用	177,435	163,440
役員退職慰労引当金繰入	18,448	18,106
固定資産減価償却費	382,798	406,176
諸経費	287,163	369,603
一般管理費合計	6,432,057	6,719,689
営業利益	8,691,194	9,739,370

(単位：千円)

	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	30,250	29,543
有価証券利息	※2 29,170	※2 11,040
受取利息	※2 19,853	※2 20,465
投資有価証券償還益	73,517	371,171
収益分配金等時効完成分	421,674	438,693
その他	8,586	8,257
営業外収益合計	583,053	879,170
営業外費用		
投資有価証券償還損	181,632	192,004
収益分配金等時効完成成分支払額	10,520	—
時効後支払損引当金繰入	—	666
事務過誤費	7,510	32,187
その他	3,626	7,757
営業外費用合計	203,289	232,615
経常利益	9,070,957	10,385,925
特別利益		
投資有価証券売却益	231,903	351,930
ゴルフ会員権売却益	10,190	—
特別利益合計	242,093	351,930
特別損失		
投資有価証券売却損	129,159	127,114
過年度時効後支払損引当金繰入	—	204,138
固定資産除却損	※1 701	※1 3,431
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	37,264
その他	—	2,429
特別損失合計	129,860	374,378
税引前当期純利益	9,183,190	10,363,477
法人税、住民税及び事業税	3,627,233	4,027,373
法人税等調整額	△118,635	△25,800
法人税等合計	3,508,597	4,001,573
当期純利益	5,674,592	6,361,903

(3)【株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	2,000,131	2,000,131
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	222,096	222,096
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	222,096	222,096
資本剰余金合計		
前期末残高	222,096	222,096
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	222,096	222,096
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	342,589	342,589
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	6,998,000	6,998,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金		
前期末残高	27,520,492	31,383,254
当期変動額		
剰余金の配当	△1,811,830	△2,841,844
当期純利益	5,674,592	6,361,903
当期変動額合計	3,862,761	3,520,059
当期末残高	31,383,254	34,903,313
利益剰余金合計		
前期末残高	34,861,082	38,723,843
当期変動額		
剰余金の配当	△1,811,830	△2,841,844
当期純利益	5,674,592	6,361,903
当期変動額合計	3,862,761	3,520,059
当期末残高	38,723,843	42,243,903
株主資本合計		
前期末残高	37,083,309	40,946,071
当期変動額		
剰余金の配当	△1,811,830	△2,841,844
当期純利益	5,674,592	6,361,903
当期変動額合計	3,862,761	3,520,059
当期末残高	40,946,071	44,466,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△621,031	1,277,237
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,898,269	△885,699
当期変動額合計	1,898,269	△885,699
当期末残高	1,277,237	391,537
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	—	△62,258

当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△62,258	62,258
当期変動額合計	△62,258	62,258
当期末残高	△62,258	—
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△621,031	1,214,979
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,836,011	△823,441
当期変動額合計	1,836,011	△823,441
当期末残高	1,214,979	391,537
純資産合計		
前期末残高	36,462,278	42,161,050
当期変動額		
剰余金の配当	△1,811,830	△2,841,844
当期純利益	5,674,592	6,361,903
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,836,011	△823,441
当期変動額合計	5,698,772	2,696,617
当期末残高	42,161,050	44,857,668

重要な会計方針

項目	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	子会社株式：移動平均法による原価法によっております。 その他有価証券： 時価のあるものは決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。 時価のないものは移動平均法による原価法によっております。	同 左
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	時価法によっております。	—
3. 固定資産の減価償却の方法		
(1) 有形固定資産	定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は、建物38年であります。	同 左
(2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェア	社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。	同 左
それ以外の無形固定資産	定額法を採用しております。	同 左
4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。	同 左
5. 引当金の計上基準		
(1) 賞与引当金	従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。	同 左
(2) 退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 数理計算上の差異は、その発生年度の従業員の平均支払期間以内の一定の年数（8年）による定額法により、翌事業年度より費用処理することとしております。	同 左
(3) 役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。	同 左
(4) 時効後支払損引当金	—	時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。
6. ヘッジ会計の手法		
(1) ヘッジ会計の方法	繰延ヘッジ処理によっております。	—
(2) ヘッジ手段とヘッジ対象	当事業年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下の通りであります。 a. ヘッジ手段…株価指数先物 ヘッジ対象…投資有価証券 b. ヘッジ手段…株式関連オプション ヘッジ対象…投資有価証券	—

(3) ヘッジ方針	当社の内規である「ヘッジ取引に関する内規」に基づき、ヘッジ対象に係る価格変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。	—
(4) ヘッジ有効性評価の方法	ヘッジ対象の騰落率とヘッジ手段の騰落率を比較し、両者の変動額を基礎にして、有効性を評価しております。	—
7.消費税等の会計処理	税抜方式によっております。	同 左

重要な会計方針の変更

第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
当事業年度より、「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。なお、これによる営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響はありません。	当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。 これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ12,085千円、税引前当期純利益は49,350千円減少しております。

追加情報

第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
—	従来は時効が成立し、利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者から支払請求を受けた時点で支払予定額を費用計上しておりましたが、信頼性のある見積もりを行うための社内体制を整備し、当事業年度より将来の支払見込額を合理的に見積もることが可能となりました。そのため、当事業年度より受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を「時効後支払損引当金」として計上しております。 この結果、従来の方法に比べて経常利益は8,014千円多く計上され、税引前当期純利益は196,123千円少なく計上されています。

注記事項
(貸借対照表関係)

項目	第25期 (平成22年3月31日現在)	第26期 (平成23年3月31日現在)
※1.有形固定資産の減価償却累計額	建物 152,240千円 器具備品 167,633千円	建物 181,085千円 器具備品 227,109千円
※2.関係会社に対する主な資産・負債	区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。 預金 5,272,377千円 有価証券 14,000,000千円 未収入金 2,072千円 未収収益 43,545千円 金銭の信託 500,000千円 長期性預金 5,000,000千円 長期差入保証金 837,940千円 未払手数料 1,005,639千円 未払費用 153,908千円	区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。 預金 13,335,700千円 有価証券 10,000,000千円 未収入金 1,500千円 未収収益 63,656千円 金銭の信託 30,000千円 長期性預金 7,000,000千円 長期差入保証金 788,590千円 未払手数料 986,786千円 未払費用 134,713千円

(損益計算書関係)

項目	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
※1.固定資産除却損の内訳	器具備品 701千円	器具備品 3,431千円
※2.関係会社に対する主な取引	区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。 支払手数料 11,148,518千円 有価証券利息 26,197千円 受取利息 19,853千円	区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。 支払手数料 11,685,424千円 有価証券利息 8,718千円 受取利息 20,465千円

(株主資本等変動計算書関係)

第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度末 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	124,098	—	—	124,098
合計	124,098	—	—	124,098

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

平成21年6月29日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

- | | | |
|---|----------|-------------|
| ① | 配当金の総額 | 1,811,830千円 |
| ② | 1株当たり配当額 | 14,600円 |
| ③ | 基準日 | 平成21年3月31日 |
| ④ | 効力発生日 | 平成21年6月30日 |

(2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成22年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

- | | | |
|---|----------|-------------|
| ① | 配当金の総額 | 2,841,844千円 |
| ② | 配当の原資 | 利益剰余金 |
| ③ | 1株当たり配当額 | 22,900円 |
| ④ | 基準日 | 平成22年3月31日 |
| ⑤ | 効力発生日 | 平成22年7月1日 |

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度末 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	124,098	—	—	124,098
合計	124,098	—	—	124,098

2.配当に関する事項

(1)配当金支払額

平成22年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

- | | | |
|---|----------|-------------|
| ① | 配当金の総額 | 2,841,844千円 |
| ② | 1株当たり配当額 | 22,900円 |
| ③ | 基準日 | 平成22年3月31日 |
| ④ | 効力発生日 | 平成22年7月1日 |

(2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成23年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

- | | | |
|---|----------|-------------|
| ① | 配当金の総額 | 3,189,318千円 |
| ② | 配当の原資 | 利益剰余金 |
| ③ | 1株当たり配当額 | 25,700円 |
| ④ | 基準日 | 平成23年3月31日 |
| ⑤ | 効力発生日 | 平成23年6月30日 |

(金融商品関係)

第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1.金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。このうち一部の投資信託については価格変動リスクを回避するために、デリバティブ取引を行っております。

デリバティブ取引は、投資信託に係る価格変動リスクに対するヘッジを目的とした先物取引及びオプション取引であります。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の重要な会計方針「6.ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

デリバティブ取引の利用にあたっては、カウンターパーティーリスクを軽減するために、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

② 市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

投資信託については、内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

デリバティブ取引については、内部管理規程に従い、実需の範囲で行うこととしております。

(4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。また、注記事項「デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金及び預金	8,675,536	8,675,536	—
(2) 有価証券	14,000,000	14,000,000	—
(3) 未収委託者報酬	4,345,110	4,345,110	—
(4) 長期性預金	5,000,000	5,007,477	7,477
(5) 投資有価証券	11,533,054	11,533,054	—
(6) 未払手数料	(1,748,905)	(1,748,905)	—
(7) 未払法人税等	(1,727,215)	(1,727,215)	—
(8) デリバティブ取引(*2)	(7,536)	(7,536)	—

(*1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金及び預金、(2)有価証券並びに(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、有価証券はすべて短期決済される譲渡性預金であります。

(4)長期性預金

契約期間に基づく区分ごとに、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値を算定しております。

(5)投資有価証券

上記の表中における投資有価証券はすべて投資信託であり、公表されている基準価額によっております。

(6)未払手数料、並びに(7)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8)デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（貸借対照表計上額264,257千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式431,812千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

（注3）金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	8,675,536	—	—	—
未収委託者報酬	4,345,110	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
譲渡性預金	14,000,000	—	—	—
投資信託	—	3,044,412	62,645	—
長期性預金	—	5,000,000	—	—
合計	27,020,647	8,044,412	62,645	—

（追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成23年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金及び預金	17,056,128	17,056,128	—
(2) 有価証券	10,000,000	10,000,000	—
(3) 未収委託者報酬	4,517,987	4,517,987	—
(4) 長期性預金	7,000,000	7,010,576	10,576
(5) 投資有価証券	9,140,755	9,140,755	—
(6) 未払手数料	(1,768,519)	(1,768,519)	—
(7) 未払法人税等	(2,228,870)	(2,228,870)	—

(*1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 有価証券並びに(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、有価証券はすべて短期決済される譲渡性預金であります。

(4) 長期性預金

契約期間に基づく区分ごとに、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値を算定しております。

(5) 投資有価証券

上記の表中における投資有価証券はすべて投資信託であり、基準価額によっております。

(6) 未払手数料及び(7) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（貸借対照表計上額264,257千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式431,812千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	17,056,128	—	—	—
未収委託者報酬	4,517,987	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
譲渡性預金	10,000,000	—	—	—
投資信託	—	2,032,211	1,152,101	—
長期性預金	—	7,000,000	—	—
合計	31,574,115	9,032,211	1,152,101	—

(有価証券関係)

第25期（平成22年3月31日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式431,812千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額（千円）
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	6,083,784	4,825,309	1,258,474
	小 計	6,083,784	4,825,309	1,258,474
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	5,449,270	5,692,652	△243,382
	小 計	5,449,270	5,692,652	△243,382
合 計		11,533,054	10,517,961	1,015,092

(注) 非上場株式（貸借対照表計上額264,257千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 当事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

種類	売却額（千円）	売却益の合計額（千円）	売却損の合計額（千円）
株式	11,600	—	10,920
債券	—	—	—
その他	1,988,176	253,043	118,239
合 計	1,999,776	253,043	129,159

第26期（平成23年3月31日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式431,812千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	4,026,733	3,476,499	550,234
	小 計	4,026,733	3,476,499	550,234
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	5,114,022	5,236,164	△122,142
	小 計	5,114,022	5,236,164	△122,142
	合 計	9,140,755	8,712,663	428,091

(注) 非上場株式（貸借対照表計上額264,257千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 当事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

種類	売却額 (千円)	売却益の合計額 (千円)	売却損の合計額 (千円)
株式	—	—	—
債券	—	—	—
その他	4,283,999	392,809	127,114
合 計	4,283,999	392,809	127,114

(デリバティブ取引関係)

第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当するものはありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

株式関連

(単位：千円)

ヘッジ会計の手法	取引の種類	主なヘッジ対象	当事業年度（平成22年3月31日）		
			契約額等	契約額等のうち1年超	時価
原則的処理方法	先物取引（売建）	投資有価証券	373,043	—	△7,536

(注) 時価の算定方法 取引所の価格及び決算日の為替レートによっております。

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

重要な取引はありません。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、従業員に対して適格退職年金制度及び退職一時金制度を設けております。なお、平成18年6月に適格退職年金制度及び退職一時金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行しました。

2. 退職給付債務に関する事項

(単位：千円)

	第25期 (平成22年3月31日現在)	第26期 (平成23年3月31日現在)
(1) 退職給付債務	△661,846	△567,377
(2) 年金資産	416,582	309,065
(3) 未積立退職給付債務 (1)+(2)	△245,263	△258,311
(4) 未認識数理計算上の差異	177,056	152,850
(5) 貸借対照表計上額純額 (3)+(4)	△68,206	△105,461
(6) 退職給付引当金	△68,206	△105,461

3.退職給付費用に関する事項

(単位：千円)

	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
(1)勤務費用	28,685	28,585
(2)利息費用	11,367	9,774
(3)期待運用収益	△6,824	△6,248
(4)数理計算上の差異の費用処理額	57,581	37,969
(5)退職給付費用	90,809	70,080
(6)その他	86,626	93,360
(7)合計	177,435	163,440

(注)「(6)その他」は、確定拠出年金への掛金支払額であります。

4.退職給付の計算基礎に関する事項

	第25期 (平成22年3月31日現在)	第26期 (平成23年3月31日現在)
(1)割引率	1.5%	同左
(2)期待運用収益率	1.5%	同左
(3)退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準	同左
(4)数理計算上の差異の処理年数	各事業年度の発生時における従業員 の平均支払期間以内の一定 の年数（8年）による定額法に より、翌事業年度より費用処理 しております。	同左

(税効果会計関係)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	第25期 (平成22年3月31日現在)	第26期 (平成23年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	669,724	651,260
投資有価証券評価損	849,883	408,754
ゴルフ会員権評価損	9,710	9,710
未払事業税	136,281	172,269
賞与引当金	236,338	223,795
役員退職慰労引当金	26,935	30,934
退職給付引当金	27,753	42,912
減価償却超過額	54,520	39,127
委託者報酬	106,666	92,577
長期差入保証金	—	20,080
時効後支払損引当金	—	79,802
その他	62,287	34,708
繰延税金資産 小計	2,180,101	1,805,934
評価性引当額	△1,298,012	△898,045
繰延税金資産 合計	882,088	907,888
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	—	△36,553
繰延税金負債 合計	—	△36,553
繰延税金資産(負債)の純額	882,088	871,334

2.法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因

第25期 (平成22年3月31日現在)		第26期 (平成23年3月31日現在)	
	(%)		(%)
法定実効税率 (調整)	40.7	法定実効税率 (調整)	40.7
投資有価証券評価損認容	△2.1	投資有価証券評価損認容	△2.9
その他	△0.4	その他	0.8
税効果会計適用後の法人税等の負担率	38.2	税効果会計適用後の法人税等の負担率	38.6

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1.製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2.地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

該当事項はありません。

(追加情報)

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

当事業年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(関連当事者情報)

第25期（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
主要株主	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有直接30.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	4,064,069千円	未払手数料	285,840千円
							事務所の賃借	631,409千円	長期差入保証金	833,144千円
							投資の助言	186,556千円	未払費用	99,917千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	被所有直接15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	7,084,449千円	未払手数料	719,799千円
							取引銀行	49,000,000千円	有価証券	14,000,000千円
								26,197千円	未収利息	1,234千円
							マルチコーラブル預金の預入	5,000,000千円	長期性預金	5,000,000千円
							マルチコーラブル預金に係る受取利息	16,869千円	未収利息	1,597千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

事務所敷金及び賃借料については、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢等を勘案して決定しております。

預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は3ヶ月～3年であります。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ証券(株)	東京都千代田区	65,518百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	2,822,731千円	未払手数料	397,272千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2.親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

第26期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

1.関連当事者との取引

(1)財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
主要株主	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 30.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	4,481,369 千円	未払手数料	294,093 千円
						事務所の賃借	事務所賃借料	631,409 千円	長期差入保証金	783,794 千円
						投資の助言	投資助言料	189,915 千円	未払費用	88,454 千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都 千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	7,204,055 千円	未払手数料	692,693 千円
						取引銀行	譲渡性預金の預入	41,000,000 千円	有価証券	10,000,000 千円
							譲渡性預金に係る受取利息	8,718 千円	未収利息	675 千円
							マルチコーラブル預金の預入	9,000,000 千円	現金及び預金	6,000,000 千円
									長期性預金	7,000,000 千円
					マルチコーラブル預金に係る受取利息	18,499 千円	未収利息	3,069 千円		

取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

事務所敷金及び賃借料については、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢等を勘案して決定しております。

預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は3ヶ月～3年であります。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区	3,000 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	4,447,569 千円	未払手数料	408,084 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)は、平成22年5月1日付で三菱UFJ証券(株)から商号変更をしております。

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2.親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

(1株当たり情報)

項目	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
1株当たり純資産額	339,739円97銭	361,469円71銭
1株当たり当期純利益	45,726円70銭	51,265円16銭

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	第25期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	第26期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
当期純利益（千円）	5,674,592	6,361,903
普通株式に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	5,674,592	6,361,903
期中平均株式数（株）	124,098	124,098

[次へ](#)

中間財務諸表
(1)中間貸借対照表

(単位：千円)

第27期中間会計期間 (平成23年9月30日現在)		
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金		12,391,285
有価証券		10,000,000
前払費用		249,305
未収入金		25,499
未収委託者報酬		3,940,745
未収収益		45,150
繰延税金資産		408,951
金銭の信託		30,000
その他		35,283
流動資産合計		27,126,222
固定資産		
有形固定資産		
建物	※1	295,215
器具備品	※1	198,581
土地		1,205,031
有形固定資産合計		1,698,828
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		941,198
ソフトウェア仮勘定		268,086
その他		46
無形固定資産合計		1,225,153
投資その他の資産		
投資有価証券		11,084,227
関係会社株式		320,136
長期性預金		8,500,000
長期差入保証金		843,363
長期前払費用		7
繰延税金資産		454,761
その他		15,035
投資その他の資産合計		21,217,531
固定資産合計		24,141,513
資産合計		51,267,736

(単位：千円)

第27期中間会計期間
(平成23年9月30日現在)

(負債の部)

流動負債

預り金		84,072
未払金		
未払収益分配金		185,028
未払償還金		1,100,533
未払手数料		1,543,826
その他未払金		60,533
未払費用		1,165,016
未払消費税等	※2	118,279
未払法人税等		2,007,720
賞与引当金		546,000
その他		240,623
流動負債合計		<u>7,051,635</u>

固定負債

退職給付引当金		114,876
役員退職慰労引当金		40,236
時効後支払損引当金		202,870
固定負債合計		<u>357,982</u>
負債合計		<u>7,409,618</u>

(純資産の部)

株主資本

資本金		2,000,131
資本剰余金		
資本準備金		222,096
資本剰余金合計		<u>222,096</u>
利益剰余金		
利益準備金		342,589
その他利益剰余金		
別途積立金		6,998,000
繰越利益剰余金		34,612,717
利益剰余金合計		<u>41,953,307</u>
株主資本合計		<u>44,175,534</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券		△317,416
評価差額金		
評価・換算差額等合計		<u>△317,416</u>
純資産合計		<u>43,858,117</u>
負債純資産合計		<u>51,267,736</u>

(2)中間損益計算書

(単位：千円)

第27期中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業収益	
委託者報酬	24,575,782
その他営業収益	
投資顧問料	7,818
その他	84,509
営業収益合計	24,668,109
営業費用	
支払手数料	9,969,103
広告宣伝費	232,548
公告費	5,179
調査費	
調査費	458,736
委託調査費	5,096,180
事務委託費	163,123
営業雑経費	
通信費	45,651
印刷費	190,661
協会費	20,318
諸会費	3,638
事務機器関連費	471,438
営業費用合計	16,656,579
一般管理費	
給料	
役員報酬	100,912
給料・手当	1,561,651
賞与引当金繰入	546,000
福利厚生費	260,673
交際費	14,181
旅費交通費	71,936
租税公課	55,257
不動産賃借料	347,685
退職給付費用	71,102
役員退職慰労引当金繰入	13,306
固定資産減価償却費	※1 239,966
諸経費	116,749
一般管理費合計	3,399,423
営業利益	4,612,106

(単位：千円)

第27期中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
営業外収益	
受取配当金	60,078
有価証券利息	4,371
受取利息	12,824
投資有価証券償還益	1,876
収益分配金等時効完成分	301,525
その他	5,987
営業外収益合計	386,664
営業外費用	
時効後支払損引当金繰入	14,530
その他	1,189
営業外費用合計	15,719
経常利益	4,983,051
特別利益	
投資有価証券売却益	33,040
特別利益合計	33,040
特別損失	
投資有価証券売却損	63,598
関係会社株式売却損	13,563
投資有価証券評価損	1,121
固定資産除却損	14,721
特別損失合計	93,004
税引前中間純利益	4,923,086
法人税、住民税及び事業税	1,980,189
法人税等調整額	44,175
法人税等合計	2,024,364
中間純利益	2,898,722

(3)中間株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	第27期中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
株主資本	
資本金	
当期首残高	2,000,131
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	2,000,131
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	222,096
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	222,096
資本剰余金合計	
当期首残高	222,096
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	222,096
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	342,589
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	342,589
その他利益剰余金	
別途積立金	
当期首残高	6,998,000
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	6,998,000
繰越利益剰余金	
当期首残高	34,903,313
当中間期変動額	
剰余金の配当	△3,189,318
中間純利益	2,898,722
当中間期変動額合計	△290,596
当中間期末残高	34,612,717
利益剰余金合計	
当期首残高	42,243,903
当中間期変動額	
剰余金の配当	△3,189,318
中間純利益	2,898,722
当中間期変動額合計	△290,596
当中間期末残高	41,953,307
株主資本合計	
当期首残高	44,466,131
当中間期変動額	
剰余金の配当	△3,189,318
中間純利益	2,898,722
当中間期変動額合計	△290,596
当中間期末残高	44,175,534
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	391,537
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△708,954
当中間期変動額合計	△708,954
当中間期末残高	△317,416
評価・換算差額等合計	
当期首残高	391,537

当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△708,954
当中間期変動額合計	△708,954
当中間期末残高	△317,416
純資産合計	
当期首残高	44,857,668
当中間期変動額	
剰余金の配当	△3,189,318
中間純利益	2,898,722
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△708,954
当中間期変動額合計	△999,550
当中間期末残高	43,858,117

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法によっております。

(2) その他有価証券

時価のあるものは中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないものは移動平均法による原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、建物38年であります。

(2) 無形固定資産

① 自社利用のソフトウェア

社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

② それ以外の無形固定資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

数理計算上の差異は、その発生年度の従業員の平均支払期間以内の一定の年数（8年）による定額法により、翌事業年度より費用処理することとしております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(4) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

[追加情報]

第27期中間会計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当中間会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

[注記事項]

(中間貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額

第27期中間会計期間 (平成23年9月30日現在)	
建物	194,967千円
器具備品	263,184千円

※2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

※1 減価償却実施額

第27期中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
有形固定資産	54,074千円
無形固定資産	185,891千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当中間会計期間 増加株式数（株）	当中間会計期間 減少株式数（株）	当中間会計期間末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	124,098	—	—	124,098
合計	124,098	—	—	124,098

2. 配当に関する事項

平成23年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

- | | |
|------------|-------------|
| ① 配当金の総額 | 3,189,318千円 |
| ② 配当の原資 | 利益剰余金 |
| ③ 1株当たり配当額 | 25,700円 |
| ④ 基準日 | 平成23年3月31日 |
| ⑤ 効力発生日 | 平成23年6月30日 |

(金融商品関係)

第27期中間会計期間(平成23年9月30日現在)

金融商品の時価等に関する事項

平成23年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

(単位：千円)

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	12,391,285	12,391,285	—
(2) 有価証券	10,000,000	10,000,000	—
(3) 未収委託者報酬	3,940,745	3,940,745	—
(4) 長期性預金	8,500,000	8,510,283	10,283
(5) 投資有価証券	10,821,091	10,821,091	—
資産計	45,653,123	45,663,407	10,283
(1) 未払手数料	1,543,826	1,543,826	—
(2) 未払法人税等	2,007,720	2,007,720	—
負債計	3,551,547	3,551,547	—

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 有価証券、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、有価証券はすべて短期決済される譲渡性預金であります。

(4) 長期性預金

契約期間に基づく区分ごとに、新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値を算定しております。

(5) 投資有価証券

上記の表中における投資有価証券はすべて投資信託であり、公表されている基準価額によっております。

負債

(1) 未払手数料、(2) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（中間貸借対照表計上額263,135千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(有価証券関係)

第27期中間会計期間（平成23年9月30日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額（千円）	取得原価 （千円）	差額（千円）
中間貸借対照表計上 額が取得原価を超え るもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	2,119,753	1,905,456	214,297
	小 計	2,119,753	1,905,456	214,297
中間貸借対照表計上 額が取得原価を超え ないもの	株式	—	—	—
	債券	—	—	—
	その他	8,701,338	9,233,052	△531,714
	小 計	8,701,338	9,233,052	△531,714
合 計		10,821,091	11,138,508	△317,416

(注) 非上場株式（中間貸借対照表計上額263,135千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

第27期中間会計期間（平成23年9月30日現在）

- ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引
重要な取引はありません。
- ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引
重要な取引はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

- 製品及びサービスごとの情報
単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。
- 地域ごとの情報
 - 営業収益
投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。
 - 有形固定資産
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
- 主要な顧客ごとの情報
投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

第27期中間会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	第27期中間会計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
1株当たり中間純利益金額	23,358.33円
（算定上の基礎）	
中間純利益金額（千円）	2,898,722
普通株主に帰属しない金額（千円）	—
普通株式に係る中間純利益金額（千円）	2,898,722
普通株式の期中平均株式数（株）	124,098

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

	第27期中間会計期間 （平成23年9月30日現在）
1株当たり純資産額	353,415.18円
（算定上の基礎）	
純資産の部の合計額（千円）	43,858,117
普通株式に係る中間期末の純資産額（千円）	43,858,117
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数（株）	124,098

独立監査人の中間監査報告書

平成23年12月21日

三菱UFJ投信株式会社 取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進 印
業務執行社員指定社員 公認会計士 鶴田光夫 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）の平成23年5月21日から平成23年11月20日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ プライムバランス（安定型）（確定拠出年金）の平成23年11月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成23年5月21日から平成23年11月20日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成23年6月30日

三菱UFJ投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	村山 周平	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	後藤 徳彌	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山田 信之	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ投信株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの第26期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ投信株式会社の平成23年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成23年12月6日

三菱UFJ投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

長島 拓也

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

山田 信之

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ投信株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第27期事業年度の中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ投信株式会社の平成23年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。

[前へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成22年6月30日

三菱UFJ投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	村山 周平 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	後藤 徳彌 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	五十幡 理一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ投信株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第25期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ投信株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。